



「明日への伝言板」を活用した人権学習を行いました。

1948年の12月10日、国連総会で、「世界人権宣言」が採択され、続く、1950年には、この日を「人権デー」とし、全ての加盟国が、人権活動を推進するための行事を行う日として位置づけられました。日本でも、毎年、12月4日～12月10日までの1週間を「人権週間」とし、人権についてのいろいろな取り組みが行われています。本年度も人権週間に合わせて、12月1日(月)～12月5日(金)までの5日間にわたり、朝自習の時間に、「明日への伝言板」の放送を活用した人権学習を行いました。12月1日(月)・孤立させない地域社会をめざして(高齢者)2日(火)・「やさしいあいさつ」してみませんか(心のつながり)3日(水)・合理的配慮ってなに?(障害のある人)4日(木)・個性の表し方(インターネット)5日(金)・人は人を思うとき(思いやり)等、人権課題について考える時間となりました。皆さんは、このような学習を通して、正しい知識を身に付け、正しい判断ができる人へと成長してほしいと願っています。そして何より大切なことは、頭の中で理解することにとどまらずに、周りの人とかかわりの中で態度や行動として表せる人になってほしい、そして木屋瀬中学校で生活する皆さんが自分のことだけでなく、周りの人の気持ちも考えて行動できれば今以上に生活しやすい木屋瀬中学校になるはずです。

地域事業(宿場祭り・シャッフルボード大会)に参加しました。

11月2日(日)に木屋瀬宿場祭りに参加させていただきました。吹奏楽部の演奏で男子バスケットボール、一般参加生徒で街道の歩行者天国を行進し、放送部が部活動紹介等を行いました。旧宿場町木屋瀬の歴史と伝統の継承、そして町の活性化に寄与することができました。また、12月20日(土)に木屋瀬市民センター、健康の会主催シャッフルボード大会に生徒会の生徒(2チーム)で参加させていただきました。シャッフルボードとは、室内の細長いコートの上でディスク(円盤)を押し出し、「ダイヤグラム」と呼ばれる得点盤上に到達させてその得点を競うニュースポーツです。年長者の方々を含む16チームで競い合い、Aチームが8位、Bチームが13位でした。年長者の方々とも豊かな交流を行うことができ、楽しいひと時を過ごすことができました。

